



ガリガリ君 E-mail 通信

令和7年4月(第198号)
新年度スタート号

下水道既設管路耐震技術協会

令和7年度がスタートしました。各職場では人事異動や新入社員の加入等ではしばらくは慌ただしい時期となりますが、工事中の現場では事故の発生しやすい時期でもあります。今年度も耐震工事での事故が無いようご注意ください。

○ 作業員3名が死亡する痛ましい事故が発生しました

3月7日、秋田県が発注した流域下水道の管路(圧送管)の補修工事中、マンホール内で作業していた作業員1名が意識を失い倒れ、救助しようとした作業員2名も相次いで意識を失い倒れました。救急隊員により3名が救出され救急搬送されましたが、全員の死亡が確認されました。

現場には、圧送管のバルブ操作用の1号マンホール(深さ約4m)と隣接する管理用排泥ピット(図-1)があり、当日の作業着手時には硫化水素等の測定を行ったうえで、管路補修後の通水試験を実施している最中の事故でした。

事故原因については調査中とのことですが、現場状況や作業内容から、通水のためバルブを開けた際、圧送管内に発生していた硫化水素がマンホール内に充満したことが原因と思われる。

昨年より、下水道工事に伴う大きな死亡事故が連続しています。下水管内は密閉空間で、特に供用中の下水管内ではどんな不測の事態が生じるかわかりません。深いマンホール内の作業では墜落制止用器具を身に着けるとともに、常に換気を行うよう心掛けてください。

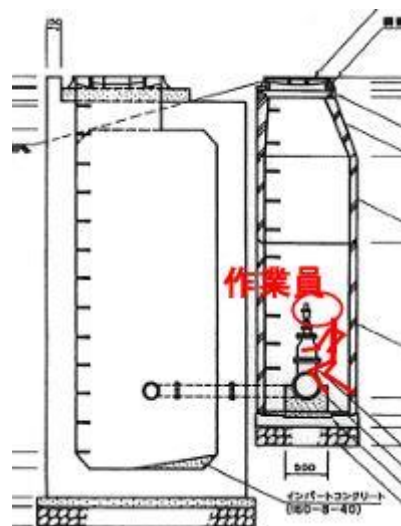


図-1 事故現場の状況図

○ 「下水道管路の全国特別重点調査」が実施されます

2月21日に設置された「下水道等に起因する大規模な道路陥没事故を踏まえた対策検討委員会」において取りまとめられた提言を踏まえ、「下水道管路の全国特別重点調査」の実施が3月18日に地方公共団体に対して要請されました。

調査の対象となるのは、管径が2m以上かつ平成6年度以前(30年以上経過)に設置された下水道管路を調査対象とし、このうち以下の①～④のいずれかに該当する箇所の調査を優先的に実施することとしています。

- ① 埼玉県八潮市の道路陥没現場と類似の構造・地盤条件の箇所
- ② 管路の腐食しやすい箇所

③ 陥没履歴があり交通への影響が大きい箇所

④ その他（沈砂池の堆積土砂量が顕著に増加した処理場・ポンプ場につながる管路）

調査対象の管路延長は約5千kmで1年以内を目途に、またこのうちの20%、約千kmについては夏頃までに優先的に実施することとしています。

調査内容は「管路内調査」と「空洞調査」で、調査方法としては次の様な調査方法で行うこととしています。

- 管路内調査 潜行目視またはドローン・テレビカメラ等による調査
- 空洞調査 緊急度の高い箇所の、路面下空洞調査または簡易な貫入試験・管路内からの空洞調査

○ ミャンマーで大きな地震、1万人以上死亡か

3月28日午後0時50分（日本時間同3時20分）頃、ミャンマー中部ガザイン市の北西16km、震源の深さ10kmとするマグニチュード7.7の地震が、その12分後にもマグニチュード6.4の地震が発生し、ミャンマー及びタイなど近隣の国で大きな被害が出ています（図-2）。

震源地に近いマンダレーをはじめ、ミャンマー国内ではこれまでに2000人以上の死亡が確認されているほか、多くの建物が倒壊し住民が下敷きとなっており、最終的には1万人を超えるのではないかと予想されています（写真-1）。

また、震源から1000km離れたタイのバンコックでも、建設中の高層ビルが倒壊し、死者が18人確認されているほか、76人が下地に担っているなど、大きな被害が出ている模様です（写真-2）。

これらの国々では、これまで大きな地震の発生が無かったことから、建物等の地震対策はされておらず、大きな被害が出た考えられています。また、ミャンマーでは政治的混乱が続いており、救援活動の遅れが被害の拡大に一層輪をかけています。



図-2 ミャンマー 位置図



写真-1 倒壊するミャンマーの仏塔

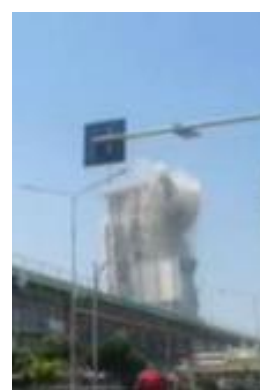


写真-2 倒壊するバンコックの建設中の高層ビル

○ 本の紹介

下水道関係の本というと、どうしても技術や制度等について書かれた専門書が多く、本屋の新書や単行本の棚で下水道関係の本を探すことは至難の業です。そんな中で、かなり前に発行され、気軽に読める1冊の本をご紹介します。

題名は「舗装と下水道の文化」論創社（写真-3）、著者の岡並木氏（1926年～2002年）は朝日新聞社の編集委員をされていた方です。本書は1980年の11～12月に朝日新聞に連載された「土と水と人間」をベースに、加筆したものを1985年に単行本として出版したものです。著者の前書きに、『70年代の初めごろ、東京都庁の会合で「雨のしみ込む舗装はできませんか」とたずねて、わらわれた。・・・門外漢の私が、下水道の取材に手を付けることになった動機が、そこにある・・・』と書いているように、下水道の専門家ではない視点から、各国の

古い文献、博物館、古文書館を調査し、そこから「舗装と下水道」の関係性を各国の歴史の中で追い、技術史だけでなく社会文化的にまとめ上げた一冊で、「舗装と下水道」を共通テーマにした、第I部 歴史、第II部 現在、第III部 課題、第IV部 文化、の4部の35章で構成され、各章が独立したテーマを扱っています。

新聞社ならではの取材力で、各国の「舗装と下水道」に纏わる歴史や事例が、多くの写真や図を用いて、非常に平易に読みやすい文章で書かれています。また、巻末の「交通・道路・下水道関連年表」は、下水道の歴史や文化に興味ある方には大変に役立つ資料で、一見の価値があります。

45年前の本で、当時の知見や課題を広く浅く網羅的に扱ってはいますが、それらが今まさに進められている下水道事業に引き継がれており、そのルーツや歩みを知ることが出来る一冊です。残念ながら今は廃版となっていますが、古書として出回っておりますので、機会があればぜひ手に取ってみてください。

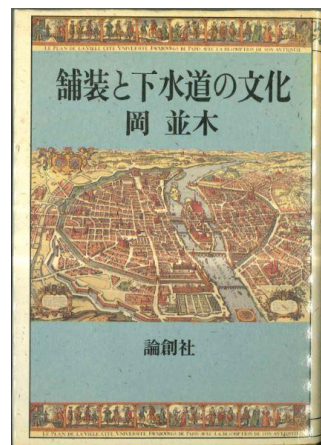


写真-3 古いパリの街並みを用いた表紙

機会があればぜひ手に取ってみてください。

***** 協会からのお知らせ ******

○ 令和6年度クロスチェックパトロールを実施しました

今年度のクロスチェックパトロールを、東京都内の3組6社の会員に依頼して実施し、2月末までに終了しました。

- 1組 実施日：令和7年2月27日
文京区本駒込三丁目、小石川五丁目付近管路耐震化工事
⇕
港区海岸二、三丁目付近管路耐震化工事
- 2組 実施日：令和7年2月25日
品川区東大井一丁目、上大崎三丁目付近管路耐震化工事
⇕
新宿区新宿三丁目、中野区東中野一丁目付近管路耐震化工事
- 3組 実施日：令和6年12月9日
中野区丸山一丁目、杉並区堀之内一丁目付近管路耐震化工事
⇕
目黒区八雲四丁目、中目黒一丁目付近管路耐震化工事

今回で令和6年度の安全・クロスチェックパトロールを終了し、各現場の安全対策、品質確保状況に問題ないことを確認しました。

パトロールにご協力いただきました会員の皆さん、工事中の荒ただしい中、お手数をお掛けしましたが、ご協力ありがとうございました。

○ 令和7年度管理者講習会の実施内容が決まりました

令和7年度の既設人孔耐震化工法とフロートレス工法の施工管理者講習会について、実施日と会場が決まりましたのでお知らせします。

- (1) 東京会場 : 5月23日(金) 午後 日暮里 ホテルラングウッド

- (2) 名古屋会場： 5月 9日(金) 午後 安部ホール
- (3) 金沢会場： 5月 15日(木) 午後 金沢市異業種研修会館
16日(金) 午前 //
- (4) 福岡会場： 5月 30日(金) 午前 栗原工業ビル

- ◆ 受講される方は、当日欠席の無いよう、日程調整をお願いします。
- ◆ 後日、会場ごとに実施案内をお送りしますので、集合時間や当日の持ち物などの詳細については、そちらで確認ください(4月中旬頃発送の予定です)。
- ◆ 不明の点がありましたら、本協会事務局(担当 荻原・オギワラ)までお尋ねください。
TEL03-3437-6454

○ 耐震一発くんの建設技術審査証明(下水道技術)が更新されました

耐震一発くんの建設技術審査証明(下水道技術)が更新され、3月18日、日本下水道新技術機構で証明書の交付式が行われました(写真-4)。

今回更新されたのは、中口径管の耐震化に使用するステンレス接着用高強度エポキシペーストの物性試験について、準拠していたJISの一部が廃止されたため、移行したJISに準拠して再試験を行ったものです。このため、これまでの施工性、耐震性、物性、耐熱性の各項目に関する変更はありません。また、今回の更新により、審査証明の有効期限が5年延長され、2030年3月31日までとなります(写真-5)。



写真-5 交付された建設
技術審査証明書



写真-4 証明書の交付

○ 今月の予定

- 11日(金) 令和7年度 第1回 運営委員会、品質確保委員会
- 25日(木) 第24回 定時総会

編集後記

・今年下水道展は大阪で開催されますが、大阪万博の開催時期とも重なるため宿が取れないとの話が早くからでていたため、昨年の12月にやっとの思い出で確保したのですが、室料がなんと以前の3倍近くに値上がりしていました。万博だけでなくインバウンドの影響もあると思われますが、それにしても異常な値段です。また交通量を減らすようにとの指示があり、下水道展のブースも3小間以下はパッケージブースとなりますので、この面でも大きな影響を受けています。今年下水道展、どんなことになるのか、今から非常に気掛かりです。

・今月の写真は日本銀行と満開の桜です。東京では桜が満開となりましたが、その途端真冬のような気温の日々が続いております。雨でも降らなければ、しばらくは満開の桜を楽しめそうですが、とても夜桜見物の気分にはなりそうもありません